

# 日本の トップランナー企業

# 日刊 THE NIKKAN 工業 KOGYO SHIMBUN 新聞

8月31日 水曜日

2022年(令和4年)

Y T K

## 日本と海外つなぐ架け橋として 製造業の部品調達をサポート

YTK(大阪市浪速区)は海外メーカーの日本市場参入や国内企業の海外部品調達などを支援するコンサルティング会社。特に中国や台湾のメーカーや流体関連製品メーカーに強いコネクションを持ち、各社の日本国内でのマーケティングや営業活動を代行している。新型コロナウイルス感染症拡大により、人の移動や物資の供給が滞る状況の中で、日本と台湾の企業を仲介し、合併プロジェクト立ち上げを成功へと導くなど、大きな成果を上げ始めている。今後は日本の中小企業の優れた製品を広く海外に普及させるビジネスにも力を入れていく。

### テレビ会議で 合併合意

YTKの山川元芳社長(生産の検討に入った。長に、京都のあるメーカー)もYTKが仲立ちをし、2021年12月、台湾で合併会社に相談があったのは約4年前のことだ。山川社長は中国や台湾のメーカーなど約30社をリストアップして提示。YTKも合めた3社によるテレビ会議を行った。それぞれと綿密な連絡を取り合い、最終的に条件が合致した台湾企業1社と取引を始めた。コロナ禍という非常事態で成果を上げる製品は安定供給やさらなる関係強化を目指し、合併でのメーカー振り返る。

### F A市場狙い 提携

山川社長は自動車関連会社で技術と営業の経験を積んだ後、2009年に台湾のメーカー製造会社に入る。ここでは、ほぼ顧客がいなかった日本市場での営業をまかされた。最初の3年間は「1日50〜100件、電話をかけてもまったく反応はなかった(山川社長)が、徐々に話を聞いてくれる購買担当者が現れ、4、5年目は大きく売り上げを伸ばすことができた。この経験に手応えを感じ、2016年6月にYTKを設立した。当初は日本進出を目指す中国や台湾企業に



▲ 海外企業の展示会出展をサポート

は直動装置製造のGMTグループ(台湾)と業務提携を結んだ。中心商材のメーカーとGMTの製品を組み合わせたソリューションを日本企業に提案することで「半導体製造などFA(ファクトリーオートメーション)分野の需要を掘り起こす(同)狙いだ。こうした戦略パートナー企業は50社に上る。



▲ 日本の顧客との商談

### 社名は 役に立つ会社

現在、YTKは中国の寧波(ねいは)と深圳(しんせん)に現地法人を置き、日本語と中国語が堪能で、工業製品や技術に詳しいスタッフ計5人が常駐する。10年代以降、日本は「メーカー以外でも同様、中国や台湾でも製造現場でのロボット、デジタル機器の導入が進み、工業製品の品質は日本との差が縮まってきている。九州の機



▲ 台湾メーカーの製品を紹介

材の調達先や組み立て工場を見つけて出し、各社の存在価値が認められ、試作や修正なども問題なく終え、1年ほどの準備期間で製品化にこぎつけた。社名のYTKは「役に立つ会社」の頭文字に由来する。冒頭で紹介した京都のメーカーは、合併プロジェクト立ち上げの後、中国語の通訳を社員として2人雇った。現在、YTKがその通訳の教育係を務める。本来なら関係が切れてもおかしくないタイミングだが、逆に通訳サポートの依頼があったこと



YTK CO., LTD 株式会社ワイティーケー

〒556-0011 大阪市浪速区難波中 2-10-70 なんばパークスタワー19F TEL: 06-7662-8687 FAX: 06-6777-7941

E-mail: info@ytk-group.co.jp URL: http://www.ytk-group.co.jp/products/